

2021年1月10日
九州電力送配電株式会社

電力の需給状況と節電へのご協力のお願いについて

昨年12月下旬以降、全国的に厳しい寒さが続いており、例年に比べ、電力需要が大幅に増加しております。1月8日には、西日本を中心に全国7エリアで最大需要が10年に1度程度と想定される規模を上回りました。一方、供給面では、悪天候により太陽光発電等の発電量が低下する日も少なくありません。

当社においても、予想を上回る厳しい寒さや在宅の増加等により電力需要が高止まりしていることから、日ごろ稼働していない高経年化火力を含めたあらゆる発電所をフル稼働させるとともに、自家用発電機を所有している事業者に対して発電協力要請を行うなど、更なる供給力の確保に全力を尽くしています。また、電力広域的運営推進機関と連携しながら広域的な電力の融通を行い、安定供給の確保に最大限の対策を講じているところです。

しかしながら、天候不順や厳しい寒さは今後も続くことが予想され、太陽光発電からの発電量も多くは見込めない状況です。また、高経年化火力発電所の稼働に伴いトラブルが発生するリスクや、火力発電の発電量の増加に伴い発電用燃料（LNG）の在庫が少なくなるリスクが高まっている状況です。特に3連休明けの12日は全国的に悪天候が見込まれており、電力需給がさらに悪化する可能性があります。

お客さまをはじめ、広く社会の皆さまには大変ご迷惑とご心配をお掛けし、誠に申し訳ありませんが、寒波の中での暖房等のご利用はこれまでどおり継続していただきながら、日常生活に支障のない範囲で、照明やその他電気機器のご使用を控えるなど、電気の効率的な使用にご協力いただきますようお願いいたします。

最新の電力需給状況については、当社のHPに掲載している「でんき予報」をご確認ください。

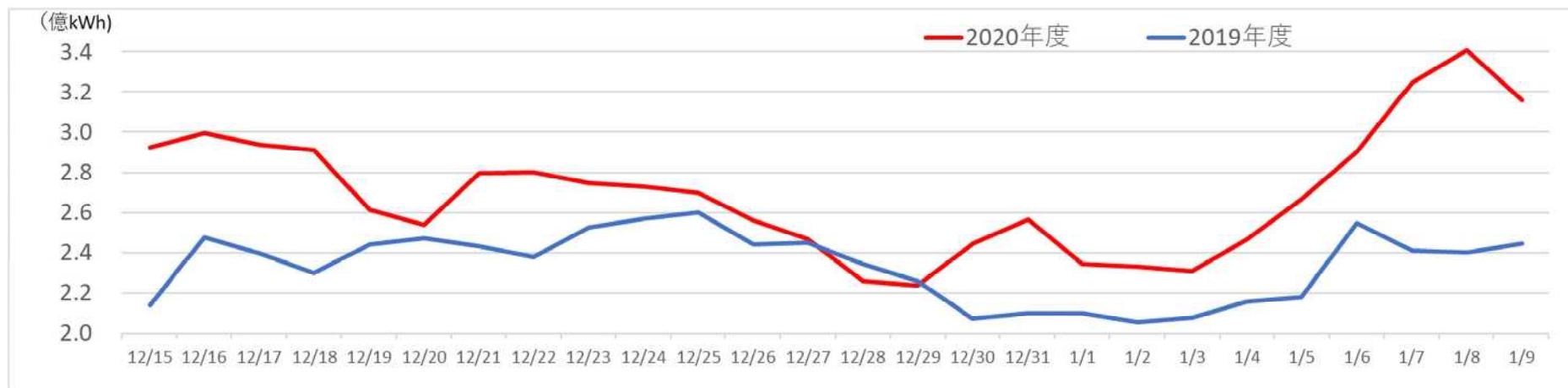
(URL : https://www.kyuden.co.jp/td_power_usages/pc.html)

以上



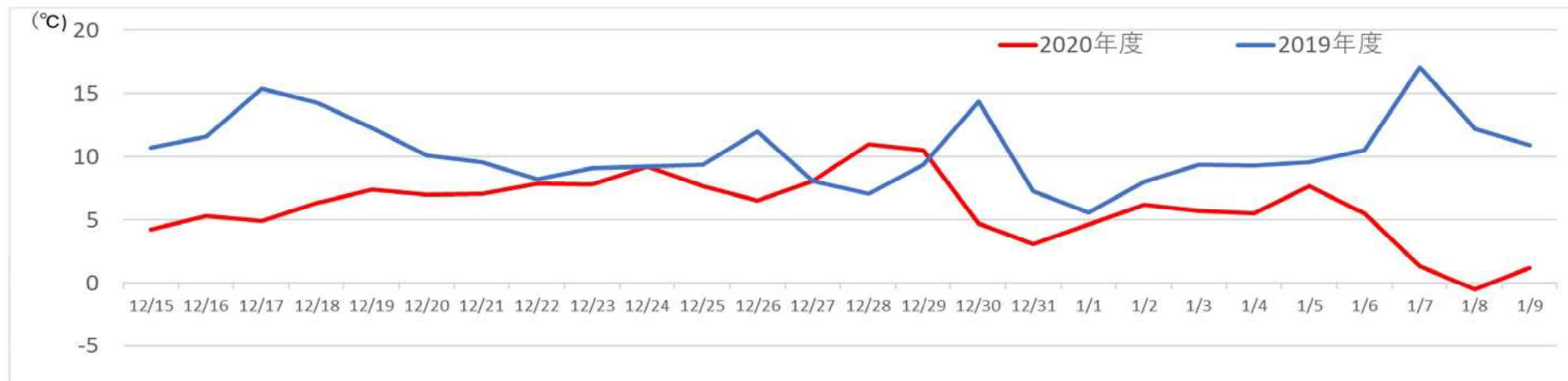
「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。

日別電力量の推移



	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9
2020年度	2.9	3.0	2.9	2.9	2.6	2.5	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.5	2.3	2.2	2.4	2.6	2.3	2.3	2.3	2.5	2.7	2.9	3.2	3.4	3.2
2019年度	2.1	2.5	2.4	2.3	2.4	2.5	2.4	2.4	2.5	2.6	2.6	2.4	2.4	2.3	2.3	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.5	2.4	2.4	2.4

平均気温（福岡市）の推移



	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9
2020年度	4.2	5.3	4.9	6.3	7.4	7.0	7.1	7.9	7.8	9.2	7.7	6.5	8.1	11.0	10.5	4.7	3.1	4.6	6.2	5.7	5.5	7.7	5.5	1.3	▲0.5	1.2
2019年度	10.7	11.6	15.4	14.3	12.3	10.1	9.6	8.2	9.1	9.2	9.4	12.0	8.1	7.1	9.4	14.4	7.3	5.6	8.0	9.4	9.3	9.6	10.5	17.1	12.2	10.9

九州電力および九州電力送配電が実施している供給力追加対策

九州エリアにおける全ての供給力の最大限の活用

- ・ 厳気象対応として調達している調整電源の稼働及びデマンドレスポンスの活用
- ・ 発電機の最大出力での稼働（自社、他社、自家発）
- ・ 火力発電所の定格出力を超えた運転
- ・ 点検や補修で停止している発電機の早期稼働

広域的な電力融通の拡大

- ・ 電力広域的運営推進機関及び全エリアの一般送配電事業者と緊密に連携し、需給ひっ迫した場合に必要な融通電力を受電

LNG船の高速運用

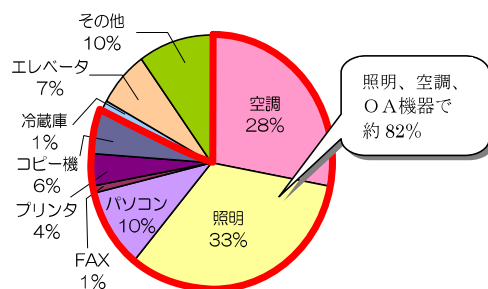
- ・ LNG船に対して最大船速での運航を指示し、低在庫を回避すべく入港の前倒しに努めている
- ・ 1月受入予定5隻を対象に各船1日以上の前倒しを実施

法人・ご家庭お客さまにおける節電の具体事例

○ 法人お客さまにおける節電の具体事例

・ オフィスビル

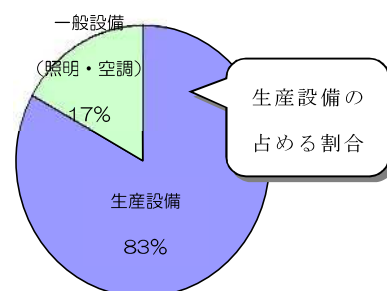
照明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 執務エリアの照明を半分程度間引きする ・ 使用していないエリアは消灯を徹底する
空調	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用していないエリアは空調を停止する ・ 夕方以降はブラインド、カーテンを閉め、暖気を逃さないようにする
OA機器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする



出典:資源エネルギー庁推計

・ 製造業

照明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用していないエリアは消灯を徹底する ・ 事務室など、執務エリアの照明を半分程度間引きする
空調	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場内の温度を 20 度とする



○ ご家庭お客さまにおける節電の具体事例

照明		<ul style="list-style-type: none"> ・ 不要な照明をできるだけ消す
テレビ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な時以外は消す ・ 画面の輝度を下げる
冷蔵庫		<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷蔵庫の設定を「弱」に変える ・ 扉を開ける時間をできるだけ減らす ・ 食品を詰めこまないようにする
ジャー炊飯器		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保温時間を短くする
温水洗浄便座 (簡便式)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 便座保温・温水の温度設定を下げる ・ 不使用時はふたを閉める
待機電力		<ul style="list-style-type: none"> ・ リモコンで電源を切るのではなく、本体の主電源を切る ・ 使わない機器のコンセントを抜いておく
エアコン		<ul style="list-style-type: none"> ・ 重ね着などをして、室温を 20 度とする ・ 窓に厚手のカーテンを掛ける

※取組み事例については、政府の節電ポータルサイト「節電.go.jp」
冬季の節電メニュー家庭向け（2015年度冬季版）による

〔参考〕 経済産業省資源エネルギー庁「省エネポータルサイト」

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/